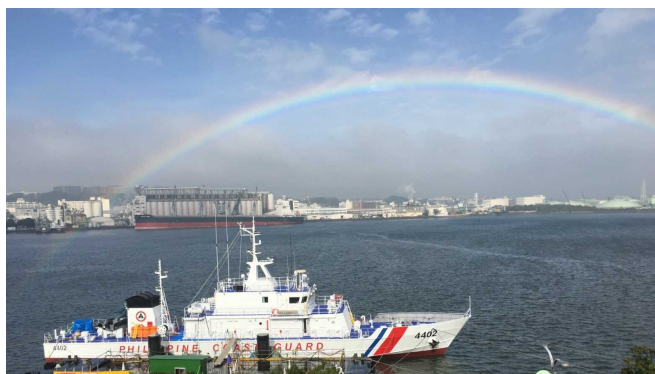


MRRV「BRP TUBBATAHA」

Multi Role Response Vessel in Philippine Coast Guard

艦船事業本部 横浜事業所



1. はじめに

本船は日本政府の有償資金協力（ODA）「フィリピン沿岸警備隊海上安全対応能力強化事業」に基づき、発注された 40m 級多目的船 10 隻の 1 番船で、2016 年 10 月 12 日にドゥテルテ大統領参加の式典を行い、フィリピン共和国（以下比国）運輸省及び比国沿岸警備隊に引き渡された。

本船は海上における安全確保（人命・財産保護）、海上捜索救助、海洋環境保全、海上法執行、航行安全管理等の業務を主任務とする。本船の主な特徴を紹介する。船名は比国内の灯台の名前に由来している。

2. 本船の特徴

2.1 全般

日本国内の諸官公庁船は JG 規則にて設計・建造されるのが一般的だが、比国内にはそれに類する基準はないこともあり、日本海事協会的高速船規則（NK-HS）が適用された。

本船は防弾板、特殊無線装置を装備することから、外国為替及び外国貿易法の規定により、輸出許可の上、輸出された。

また、本契約は船舶の建造のみならず、乗員への教育、慣熟訓練のサポート、特別予備品等の供与を含めた建造契約となっているのが特徴である。

2.2 本船の特徴

本船は、海上保安庁殿の巡視船に類似した外観だが、比国沿岸警備隊の運用も考慮し、独自要求を随所に盛り込んだ設計となっている。

2.2.1 船体

本船は高速性、復原性、凌波性を確保するため V 型船型を採用した。

船体構造は、上部構造にアルミ合金、主船体に高張力鋼を採用したハイブリット構造である。

上部構造には、乗員の安全確保のため、前述した防弾板を装備している。

後部甲板には、海上捜索救助のため複合作業艇及びデッキクレーンを装備し、船尾には救助者及びダイバーの乗降を容易にするためのダイビングプラットフォームを装備している。

また、火災の消火活動のため他船消火装置を装備している。

消火ポンプ	独立主機駆動
消火モニター	2,600 m³/h、1 基 1,000 m³/h、2 基

2.2.2 推進システム

推進システムは、2 基の高速ディーゼルエンジンと減速装置、左右独立の一对の推進軸と固定ピッチプロペラにより構成されている。比国は数千の島嶼から成っており、浅瀬も多く座礁等の事故も多いことからメンテナンスが容易な固定ピッチプロペラが選択された。

2.2.3 通信システム等

GMDSS 機器の他、電波方向探知装置、比国沿岸警備隊の部隊内通信を可能とするための特殊通信装置、赤外線カメラ等を装備している。

3. おわりに

本シリーズ船は、現在既に 4 隻が就役し、比国内でこれまでにのべ 100 人以上の人命救助や、海賊拿捕等の任務も遂行している。残りの 6 隻についても鋭意建造を進め、今後も比国民のために役立ち、比国と我が国の友好関係にも貢献することを期待する所存である。

表 1 主要目

Table 1 Principal particular

全 長	44.5 m
最大幅	7.5 m
型 深	4.0 m
国際総トン数	321
乗 員	本船 25 名
主機関形式・出力	DE 2,580kW×2 基
推進器	FPP 2 基